

大いなる論争：相補的な医療（ヒーリング）I

ジム・ブリンクレイ

過去数十年間、より多くの人々が伝統的な西洋医学に対して不満を抱いています。特に、アメリカ合衆国で行われている方法に対してです。これにはいくつかの理由があります。一つに、技術的には素晴らしい西洋医学が段々冷たくなってきています。非人間的で、共感に欠けています。私たちは医者に厳しい基準の訓練、試験、資格、そして継続した医学教育を要求します。これは良い事であっても、医学界が技術により重点を置いて、人間関係にはより少ない重点が置かれます。

もう一つの問題は、私たちは社会的に、医療ケアは権利であり、雇用者、政府、または何か他の第三者が支払って提供するべきであると信じる（そして主張する）に至った事です。それによりケアの支払いに対する私たちの責任が無効になって、代わりに第三者の組織に責任を委譲しました。支払者であるこれらの第三者組織は当然、誰がどの様なケアをいくらで受けるかの決定に関与することを主張します。管理されたケアであるHMO^{註1}制度においても次第に強調されています。

「管理ケア」は「支給されるケア」の婉曲表現です。医療ケア（そしてその他の全て）は支給されているのに気づく事が重要です。過去においては、支払い能力によって支給されていました。金持ちは、最も名高い医者、最先端の技術、個室〔スイート〕等、金で買える最高のケアを受けることが可能でした。勤勉な労働者中流階級は、質の高い、経験を積んだ医者、最新の技術、個室に近い病室と少しの快適さを提供する医療保険を買いました。貧しい人々は、市立や州立の教育病院で、上記二つの階級のケアをしていた医者の中で志願した者から指導を受ける見習いの医者により、治療を受けていました。貧しい患者は、多数のベッドが置かれた病室に入院し、十分な技術はほとんど与えられず、快適さとは全く無縁でした。

管理ケアの下で医療ケアは、頭割り料金制(capitation)と称される新しい方法で支給されています。医者は行う仕事によって支払われるのではなく、むしろ彼らが受け入れる其々の患者に対して、毎月決められた金額が配当されます。この制度は、私たちは全て等しいケアを受ける権利があるという前提に立っているのです。財源はあらゆるグループに等しく配当され、たいていの場合、ケアの質は中級の範囲に落ち着きます。一方では当事者対抗の制度がしばしば患者と医者の間で、他方ではHMOで作られてきました。場合によっては、欲するケアを手に入れようとする患者と、患者の必要に関わらず患者一人当たり定められた予算だけが配当されている医者との間に、葛藤さえありました。

25年前私がハワイで医療をしていた頃は、患者とおしゃべりをしたり、家族について聞いたり、話しや笑いの一つや二つを交わす時間がありました。患者はしばしば贈り物を持ってきましたし、請求書を意欲的に支払っていました。今日では私に、患者の病気に関し重要なポイントについて語り合ったり、他の患者に移る前に十分な治療をする時

間はほとんどありません。多くの人々は、保険の自己負担分の小額を支払うのさえ多すぎると思っています。

健康ケアシステムにおけるこれら全ての変化により、あらゆる側面において人々が意気消沈してもあまり驚くことではありません。より多くの保険会社が医療ケア分野を廃止しています。より多くの医者が早い時期に引退したり、職業を変えています。より多くの患者が他のヒーリング方法に救いを求めています。

このような動向の最中で、私は西洋医学が私たちに非常に大きな前進をもたらしたのを思い出すのは大切だと思います。100年足らず以前には、人々は日常的に今日ほとんど罹らない病気で亡くなっていました。私の祖父も21歳の時、肺炎で亡くなっていました。抗生物質がまだなかったからです。子供の時、友人や私は小児麻痺（ポリオ）の猛威に恐れを感じ、私たちの何人かが、死ぬまで私たちに代わって呼吸をする「鉄の肺」と呼ばれる長い筒の中に横たわって、残りの人生を麻痺して過ごさなくてはならないのを知っていました。今世紀になってようやく、糖尿病患者が子供を出産するまで長生き出来るようになったのです。現代外科手術の技術によって交換できる、疲弊した身体部位の一覧は眼を見張るものがあります。外科手術自体がしばしば外来で行われ、長期間の衰弱させる入院は過去の遺物になっています。

アメリカにおける医療ケアを世界一に保つ為に私たちは何が出来るでしょうか？西洋医学とハワイの霊的癒し技術の両方の訓練(と教育の経験)を受けた者として私は、多分役に立つ展望を持っています。二つの事柄があると思います。第一に、より新しい技術と薬物療法に重点を置くのを選ぶ限り、その為に支払う金を算段しなくてはならないのです。私たちが個人として其々に自分自身の人生にもう一度責任を負い、高い質の医療保険にもっと支払う事を選択するならば可能になる、と私自身は信じています。つまり、私たちは各々医療ケアの価値を認識し、そのために喜んで支払う必要があるのです。

第二に、相補的な癒しの方法は、私たちが依存してしまっている高額で技術的な医療への需要をしばしば軽減（ある場合には削減する）するのを理解しなくてはなりません。この様な方法を探すならば、私たちは皆大きな恩恵を得ることが出来ます。医学界一般だけではなく、多くの医者がこの点に気づき始めています。2001年1月のホノルル・マガジンに、「マナに値をつける」(Putting a Price on Mana)という記事が掲載されました。ウエイマナロの主流である西洋医院において、ある伝統的なハワイの癒し方法を用いる予備段階的試みを論じたものでした。カルフォルニア州医療局の1月の行動報告書には、医療局が「代替的」癒しの方法を調査し、効果あるものを医療実践に組み込むのを義務付ける新しい法律が施行され始めたという告知が載っていました。

数ヶ月前、アロハ・インターナショナルのホームページにアクセスし、アップデートを見てみました。以前には目にしなかった文章を私はホームページの中に見つけました。「アロハ・インターナショナル、世界における最も代替的で相補的な癒しの資源」と書かれていました。

フナの視点では、この区別は重要です。一般的にフナの学びや、アロハ・インターナショナルの HP 理解が浅い読者にとって知恵とは、「情報と記事」のページで説明されている七原則と四現実に基づいています。私たちは最近、第七番目の原則 ; 「効力は真実の尺度である。」について論議しています。つまり、「働くものを使え！」という事です。

西洋の医療は、分離した領域である物理的現実において卓越しています。多くの相補的な癒しの方法が卓越している他の三つの現実が無視されがちです。正真正銘な癒しは、四つのレベルが全て取り扱われた場合にのみ達成されます。ですから、西洋医学の物理的技術と、他の制度の感情的、精神的、霊的技術が組み合わせされると、最も望ましく効力のある癒しが為されます。次の私の記事で、数例を挙げましょう。Aloha ame malu(アロハと平安を)。

訳注 1 Health Maintenance Organization
(健康維持協会)のこと。

翻訳 M. Hayashi (2005)

Copyright by Aloha International 2001